

会 議 録

会議の名称		令和6年度第3回高崎学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和7年2月5日（水）開会 13:30 閉会 15:30		
開催場所		つくば市立高崎中学校 図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	岡田 克司、岡田 良一、長谷川 清恵、渡辺 峰子 田中 雄輝、市原 裕一郎、猪瀬 奈保美 高崎中学校：校長 井橋 憲一、教頭 木村 文彦 教務主任 古國 芳彦 荃崎第一小学校：校長 小澤 光幸、教頭 三橋 伸孝 教務主任 千葉 直樹		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていきたい児童生徒に関する次年度への手立てについて」		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 授業参観 4 前回の議事の確認 5 協議：(1) 学校評価について（荃崎第一小、高崎中学校） (2) 熟議「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていきたい児童生徒に関する次年度への手立てについて」 6 その他 ・「家庭教育学級モデル校事業」について 7 閉会			

<審議内容>

1 開会

岡田座長：令和6年度第3回高崎学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。会議を進行するにあたり書記を高崎学園の古國委員にお願いします。
→承認

2 挨拶

岡田座長：今年度取り組んできて、少しずつ組織ができてきて、何をやったら良いのかも見えてきました。本来の目的を見失わないように、小さな一歩でも少しずつ進んでいければ良いのかなと思います。

井橋委員：高崎学園は、一小一中の学区であるので、友達とのより良い関係づくりはとても重要だと考えています。本日の会議では、人と関わり合う力を育てていくために、地域の方々とのようなことが可能なのか。このコミュニティ・スクール推進会議の中で貴重な御意見をいただけると幸いです。

3 授業参観

4 前回の議事録の確認

5 協議

(1) 学校評価について

三橋委員（荃崎第一小学校）

- ・楽しい学校の項目では、児童、教職員、保護者共におおむね良好。
- ・確かな学力育成の中で、「話を聞き、自分の考えや意見をもつことができる割合は非常に高い。一方で、「自分の考えを話したり書いたりする項目」に課題があった。
- ・地域と連携して取り組んでいるかという質問では、非常に数値は低いので、次年度コミュニティ・スクールを絡めながら高めていかなければならない。

木村委員（高崎中学校）

- ・全体的にみると、生徒、保護者、職員の評価が高いのがわかる。
- ・キャリア教育では8年生の職場体験学習や東京でのキャリアにつながる校外学習で学んだことが、いざ進路決定となった時に生かされていない。
- ・家庭学習の習慣に関して、生徒は頑張っていると思う生徒が多いが、保護者、教職員の結果は低かった。
- ・高崎学園の小中一貫教育は効果的に行われているかという質問では、結果がかなり低かった。コロナ禍の時期の影響がまだある。

(2) 【熟議】「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていきたい児童生徒に関する次年度への手立てについて」

①情報共有及び意見交換

②グループごとの発表

Aグループ（千葉委員発表）

- ・地域の人材バンク的なものを作るにあたって、コスト面、ハード面の準備が非常に大切になってくる。一つの案として、学校のパソコンに、余りがあれば代替できるのではないか。
- ・コミュニティ・スクールを実施していくにあたっては、学校がいかにして地域と連携していくか、その方法を考えていく必要がある。

Bグループ（古國委員発表）

- ・Aグループ同様、地域の人材バンクについての話になった。中学校としてもやっていることややりたいことを発信していきたい。
- ・発信のツールとして、ホームページ、インスタグラム、スクリーンなどを活用できないか。
- ・学校としてはどういう人材が欲しいのかを今年度中に把握して連絡を取ることができればいい。
- ・コミュニティ・スクールについて話し合えるような集会場所があるといい。卓球場は使えないか。

市原委員：つくば市役所の地域活性化の取り組みとしてR8という地域活性化のプランコンペティションが行われていて、それを活用するのが良いのではないか。

6 その他

- ・「家庭教育学級モデル校事業」について

山口参事より説明

- ・来年度、高崎学園、荃崎学園、洞峰学園、竹園学園で家庭教育学級モデル校事業を実施させていただく。学園単位での家庭教育学級を地域学校協働活動の一つとして実施する。

- ①保護者に対して親の学びとして学んでみたいことのアンケートを取る。
- ②次年度のコミュニティ・スクール協議会で、アンケート結果をもとに協議する。
- ③コミュニティ・スクール協議会委員による家庭教育部会を設置。社会教育指導員とのサポートを受けながら家庭教育学級を実施していく。

7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

令和6年度第3回高崎学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和7年2月5日（水）

13：30～

場所：高崎中学校 図書室

次 第

1 開 会

2 挨拶

・ 座長

・ 学園長

3 授業参観

4 前回の議事確認

5 協 議

(1) 学校評価について

・ 荃崎第一小学校

・ 高崎中学校

(2) 熟議

テーマ「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていきたい

児童生徒に関する次年度への手立てについて」

6 その他

・「家庭教育学級モデル校事業」について

7 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回高崎学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年10月1日（火）開会 13:30 閉会 15:30		
開催場所		つくば市立荃崎第一小学校 図工室2		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	岡田 克司、岡田 良一、長谷川 清恵、勝又 みゆき、 石川 隆、田中 雄輝、渡辺 峰子 高崎中学校：校長 井橋 憲一、教頭 木村 文彦 教務主任 古國 芳彦 荃崎第一小学校：校長 小澤 光幸 教務主任 千葉 直樹		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 課長：澤頭 由紀子 教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 係長：飯島 遊 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「地域とともに高崎学園が児童・生徒に身に付けさせたい力について～地域学校協働活動を進めるために～」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開会		
	2	挨拶		
	3	授業参観		
	4	前回の議事の確認		
	5	協議：熟議「地域とともに高崎学園が児童・生徒に身に付けさせたい力について～地域学校協働活動を進めるために～」		
	6	その他 ・諸連絡		
	7	閉会		

<審議内容>

1 開会

岡田座長：令和6年度第2回高崎学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。会議を進行するにあたり書記を高崎学園の千葉委員にお願いします。
→承認

2 挨拶

岡田座長：本日の推進会議が有意義なものになるよう、さまざまな意見を出して、活発な交流ができると幸いです。

小澤委員：授業参観を通して、本日のテーマ「児童生徒に身に付けさせたい力」の協議につなげていただければと思います。

3 授業参観

4 前回の議事録の確認

5 協議

【熟議】「地域とともに高崎学園が児童・生徒に身に付けさせたい力について～地域学校協働活動を進めるために～」

(1) グループごとに話し合う。(模造紙にまとめる)

(2) 情報共有及び意見交換

40分間協議(①学園ランドデザインの目指す児童生徒像における児童生徒の現状について、②地域との関わりにおける学校・地域の課題、③地域と学校が協働して活動するための具体的なアイデアについて)

話し合い後、グループごとに発表

Aグループ(古國委員発表)

- ・児童一人一人が生き生きと授業を受けていた。
- ・地域の課題として、高齢化による世代交代が挙げられる。
- ・学校の課題として、職場体験等の学校行事を実施する際、青年会議所やロータリークラブなど、地域との連携を一層図る必要があると感じた。
- ・地域との関わりを活発にするには、学校側がきっかけをつくっていく。(茨城弁、放課後学習のサポート、花壇の整備、草取り、地域ゴミ拾い活動における地域への呼びかけ等)。

Bグループ発表(長谷川委員)

- ・児童が汗を流しながら元気に過ごしているのが素晴らしい。

- ・道路での遊びやほかの家の敷地内で遊ぶなどの話もあり、地域での過ごし方が心配である。
- ・児童の学習活動における地域のサポートが入れるようにしたい。その体制づくりを学校とともに考えていきたい。
- ・地域としては、学校の環境整備への協力（除草、花壇の整備やお世話など）ができる。
- ・家庭学習の習慣の確立に向けた手立てはないか。
- ・子どもたちを地域行事（お祭り等）に参加させるためには、学校と連携が必要である。（地域の間が子どもたちの顔を直接見ること、学校に対してサポートしていきたいという気持ちが高まるのではないか。）
- ・子どもたちの地域行事（カヌー体験）への参加の様子を見ると、荃一小の児童が少なかった。また、中学校の生徒は（新人戦と重なったため）ほとんどいなかった。（主催場所が原因の一つかもしれない）
- ・11月2日の地域行事（さつまいも掘り）には、ぜひたくさんの方の荃一小の子どもに参加してもらいたい。

6 その他

第3回高崎学園CS推進会議の開催について

令和7年2月5日(水)13時30分 会場：高崎中学校

7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

「学校は生徒が主役」「教師は授業で勝負」

チーム高崎中だより

R6.12.24

文責 井橋

No6



自ら学び、考え、
決められる生徒



12月18日(水)に吉田先生が7年生「方言と共通語」の単元において、高崎地区在住の退職された校長先生である岡田克司 元校長先生を GT としてお招きした授業を実践してくれました。岡田先生には、茨城の方言について、クイズをしたり単文を作ったりと生徒が興味をもつきっかけづくりをしていただいたことで、写真にあるように「生徒の主体的に学ぶ姿」を大いに見ることができました。今年度のコミュニティー・スクール推進会議においても「茨城の方言を大切にする授業があってもいいのでは？」といった意見もあり、今回の授業は生徒にとっても学校にとってもとても有意義な実践となりました。吉田先生、授業を公開していただき、ありがとうございました。

2 「気にかける」(授業実践の2つのキーワード)

- ・教室の整理整頓を気にかける
- ・机と机の間を気にかける
- ・グループとグループのすきまを気にかける
(教室にいない生徒の机もグルーピングする)
- ・伏せている子を気にかける
- ・対話から逃避する子を気にかける

教えから学びへ

すべての教師による共通実践

日常的な寄り添い

コミュニティ・スクール協議会(推進会議)に関するアンケート(学園名:) どちらかに○(地域住民・教職員)

項目	あてはまる部分にチェック(○)を入れてください	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない	判断できない
1	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員(推進会議の構成員)による議論を行う					
2	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある					
3	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある					
4	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある					
5	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある					
6	協議会(推進会議)内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある					
7	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている					
8	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある					
9	協議会(推進会議)で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある					
10	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある					
11	協議会(推進会議)で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある					
12	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている					
13	議論の結果、各主体(学校・保護者・地域の大人等)が実行すべきこと・役割分担が明確になっている					
14	学校の問題や悩みは、協議会委員(推進会議の構成員)の中で共有されている					
15	協議会(推進会議)での協議内容について、十分な情報発信が行われている					
16	当事者意識をもち、学校運営に参画したと感ずることができる					
17	協議会(推進会議)への参加回数をご記入ください					回
18	その他 ご意見があればご自由に記入してください(裏面もご使用ください)					